

通学

- 実現したい将来の姿
 - ・子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
 - ・ルールをしっかり理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
 - ・ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
 - ・子どもの時から、自転車のことをしっかり理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
 - ・自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
① 通学	安全教育	交通安全教育の継続・充実	1-1	子どもへの交通安全教室の実施	・小中学校、高校等へ、交通事故情勢等に合わせた交通安全教育を実施するとともに、自転車の整備・点検についても周知する。 ・豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊丘高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 [目標]子供の交通事故死者数 0人	豊橋市(安全生活課)
			1-2	豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	条例の周知を図っていくとともに、自転車の交通事故が多い世代である高校生の交通安全対策をより推進するため、市内の高等学校で交通安全モデル校を定め、行政・学校が一体となって交通事故削減のための取り組みを行う。	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店
			1-3	200日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、豊橋市内の中学校・高校で200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施。	豊橋警察署
		指定通学路一斉点検の実施と対策の展開	1-4	通学路一斉点検	市内を12ブロックに分けたうち、令和7年度は1～6ブロックの学校で指定通学路点検を実施。点検結果による課題に対して、個別に安全対策を進める。	豊橋市(学校教育課、安全生活課、道路維持課)
	意識啓発	自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	1-5	自転車利用促進リーフレットの配布	令和4年度から継続して市内の高校1年生や市内の自転車販売店等へ配布しているリーフレットに、自転車通行空間の説明、自転車通行の原則や注意事項に関する内容だけでなく、自転車に乗り続けることのメリットについても記載する。	豊橋市(都市交通課)
		自転車を放置させないための指導・啓発	1-6	自転車放置対策推進事業	・放置自転車を防止するための指導・啓発活動 ・無料駐輪場の整理等維持管理 ・市営駐輪場の利用促進策の検討・実施	指定管理者((株)日本メカトロニクス)、委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)、委託業者((株)日本メカトロニクス)
	支援・補助	自転車通学者のヘルメット着用に関する支援	1-7	豊橋市ヘルメット購入補助金	市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促す。 (ヘルメット購入費用の2分の1 上限2000円) [目標]着用者数 昨年度比で増加	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店 市内の制服取扱店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供	1-8	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	豊鉄バス(株)
			1-9	【再掲】自転車利用促進リーフレット増刷	自転車通行空間の説明、自転車通行の原則や注意事項に関する内容が記載されたリーフレットを令和4年度から継続して市内の高校1年生や市内の自転車販売店等へ配布する。	豊橋市(都市交通課)
			1-10	【再掲】子どもへの交通安全教室の実施	・小中学校、高校等へ、交通事故情勢等に合わせた交通安全教育を実施するとともに、自転車の整備・点検についても周知する。 ・豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊橋西高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 [目標]子供の交通事故死者数 0人	豊橋市(安全生活課)
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	1-11	—	—	—

通勤

- 実現したい将来の姿
 - ・ 企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
 - ・ 毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
 - ・ 朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
 - ・ 多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての”とよはし”の魅力が高まります。
 - ・ 働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
② 通 勤	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施・充実	2-1	高齢者への交通安全教室の実施	対象年齢や交通事故情勢等にあわせた交通安全教室の実施。 [目標]高齢者の交通事故死者数 6人以下	豊橋市(安全生活課)
			2-2	自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	令和元年10月1日から加入義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、保険の募集案内を職員へ行う。	豊橋市(人事課)
	意識啓発	企業での自転車活用促進に関する啓発	2-3	地域・職域連携推進事業 (とよはし健康マガジンの発行)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載する。	豊橋市(健康増進課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
			2-4	健康経営推進事業 (とよはし健康宣言事業所認定制度)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、とよはし健康宣言事業所に係る印刷物やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤(徒歩、自転車や公共交通機関を利用した通勤)を推奨する。	豊橋市(健康増進課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
			2-5	環境マネジメントシステム推進事業	・豊橋市エコアクションプラン(第6次)の推進にあたり、研修などを通じて、エコ通勤の普及に努める。 ・とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用した管理及び報告。 [目標]エコ通勤の実施日数が令和元年度比で6%増加(277,620日)	豊橋市(環境政策課) 豊橋市役所の職員
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進	2-6	—	—	—
	情報提供	企業と連携した健康効果の検証	2-7	—	—	—
		安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	2-8	【再掲】自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える(令和6年度と同様継続実施予定)。	豊鉄バス(株)
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供(再掲)	2-9	—	—	—

買 物

- 実現したい将来の姿
 - ・子育て世代でも、高齢者でも、安心して自転車で買物に行けるようになります。
 - ・店舗側も積極的に自転車を受け入れるようになり、気軽に使いやすくなります。
 - ・気軽に自転車でも買物に出かけるようになり、店舗側にも顧客増加のメリットが生まれます。
 - ・中心市街地にも、自転車で集まる人が増えて、まちなかのにぎわいがさらに高まります。
 - ・電動アシスト付き自転車がさらに普及することで、重い荷物があるときでも、少し離れたお店に行きたいときでも自転車が利用でき、暮らしやすさが高まります。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
③ 買 物	安全教育	店舗を通じた顧客対象の安全啓発	3-1	—	—	—
		交通安全教育などの継続・充実(再掲)	3-2	高齢者への交通安全教室の実施	交通安全啓発機材を用いて、高齢者が楽しんで受講できる教室を実施する。 [目標]高齢者の交通事故死亡者数 6人以下	豊橋市(安全生活課)
			3-3	イベント内での自転車交通安全利用の啓発	車を使わない移動について考えるイベント内でヘルメット助成の対応や、反射材を使ったキーホルダーの工作体験をし、自転車安全利用の啓発を行う。	豊橋市(都市交通課、安全生活課)
		貸付・補助事業と連携し安全啓発の実施	3-4	三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出決定者に対し、安全生活課が配布しているヘルメット購入補助金のチラシを配布する。	令和6年度までで終了	—
	意識啓発	買物交通を健康づくりの機会に活かす自転車活用の周知	3-5	—	—	—
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進(再掲)	3-6	三人乗り自転車貸出	令和6年度までで終了	—
			3-7	高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	令和6年度までで終了	—
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	3-8	【再掲】自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	豊鉄バス(株)

令和7年度自転車関連実施事業(案)

資料2

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
④ レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	安全教育	自転車イベントに合わせた安全教育の実施	4-1	【再掲】イベント内での自転車交通安全利用の啓発	サイクリングイベント時に自転車に関する安全教育の実施や災害時の活用方法の周知を行う。	豊橋市(都市交通課)
	意識啓発	自転車を楽しむ機会の充実	4-2	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学1年生から中学生を対象としたサイクリング体験。 施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わることができる体験を提供。 4月に第1回を開催、11月に第2回を開催予定。	豊橋市(生涯学習課少年自然の家)
			4-3	デジタルサイクリングマップを利用したサイクリングイベント	サイクリングをより快適に楽しむため、デジタル化した「はしってみ輪とよはし」サイクリングマップを活用したサイクリングイベントを開催。	豊橋市(都市交通課)
			4-4	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルの開催	秋と春にサイクルガイドツアーを実施。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会(事務局:(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市スポーツ協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会)
			4-5	市民スポーツ祭2025【自転車】の開催	・市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。 ・小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。 7/27に開催予定。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
			4-6	第22回豊橋万場クリテリウムロードレース大会の開催	万場調整池の管理用通路を周回コースとして行うロードレース大会 9/21に開催予定。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市スポーツ協会、独立行政法人水資源機構
			4-7	東三河サイクルマラソンの開催	レースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会 10/5に開催予定。	豊橋自転車競技協会、東栄町、新城市、豊橋市スポーツ協会
			4-8	令和7年度豊橋自転車競技大会の開催	昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図る。 7/27に開催予定	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部

令和7年度自転車関連実施事業(案)

資料2

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

災 害

- 実現したい将来の姿
 - ・ 災害時の備えとして自転車を整備し、利用することで、日常での活用推進にもつながります。
 - ・ 備えを行うことで災害に対する意識が高まります。
 - ・ 災害時においても自転車での避難が可能となります。
 - ・ 発災後、自転車を活用することで、移動手段を増やすことができます。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
④ レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	意識啓発	サイクリスト受入環境の向上	4-9	サイクルツーリズムの推進	レンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光案内。	豊橋市(観光プロモーション課)、(株)道の駅とよはし、豊橋観光コンベンション協会、市内自転車関係事業者
			4-10	サイクルピット維持管理	市内の公共施設やコンビニなど、自転車の簡易なメンテナンス等を行える場所として23箇所のサイクルピットを設置しており各施設や店舗で運用する。	豊橋市(健康増進課、都市交通課)、スポーツ課、文化課、生涯学習課、美術博物館、(株)道の駅とよはし、コンビニ など
			4-11	工具ステーション維持管理	サイクリストの利便性を高めるため、24時間自転車の簡単なメンテナンスができる工具ステーションをサイクリング発着地となる市内主要3か所(道の駅とよはし東側駐車場、豊橋駅南口駅前広場、りすば豊橋駐輪場)に設置しており、維持管理を行う。	豊橋市(観光プロモーション課、健康増進課)、(株)穂の国健康づくりパートナーズ(施設管理者)、(株)道の駅とよはし
	情報提供	サイクリング・ボタリングコースの情報提供	4-12	サイクリングマップの活用	サイクリングマップ(紙・デジタル)の活用について、ホームページやイベントなどにより周知する。	豊橋市(都市交通課)
		レクリエーション・観光情報の情報発信				
		—	4-13	【再掲】自転車利用促進リーフレット増刷	自転車通行の原則や注意事項、自転車通行空間やサイクルトレインなどを掲載したリーフレットを市内の高校1年生へ配布する。	豊橋市(都市交通課)
			4-14	【新】官民連携によるシェアサイクルの実証実験	民間事業者が提供しているシェアサイクルを、交通事業者と共に連携することで、鉄道駅などから公共施設といった目的地までのラストワンマイルの移動手段充実やまちなかの回遊性向上につなげる。	豊橋市(都市計画課)、シェアサイクル事業者、交通事業者
⑤ 災 害	意識啓発	災害時を想定した日常での自転車活用の推進	5-1	防災講座等による災害時の自転車活用に関する啓発	自転車活用推進計画と連携し、災害時の備えとして、自転車をいつでも利用できるように定期的に整備することや、防災講座等で災害時の自転車活用の必要性を啓発する。	豊橋市(防災危機管理課、都市交通課)
	支援・補助	災害時などの自転車の整備点検	5-2	—	—	—
	情報提供	防災啓発資料への自転車活用情報の提供	5-3	—	—	—

令和7年度自転車関連実施事業(案)

通行空間

- 実現したい将来の姿
 - ・市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
 - ・鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
 - ・レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車が利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

- 実現したい将来の姿
 - ・サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
 - ・まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

令和7年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用 場面	事業の区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容・目標	
自転車活用を支える基盤づくり	【通行空間】 の整備	安全・快適な自転車ネットワークの整備	6-1	自転車通行空間の整備(豊橋市)	整備計画による自転車ネットワークの整備 【目標】整備延長:L=1.5km	豊橋市(道路建設課)
			6-2	自転車通行空間の整備(愛知県)	自転車道の整備(R6補正) 整備延長:L=24m	愛知県(東三河建設事務所 道路整備課)
		自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	6-3	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	—	—
	【駐輪環境】 の整備	サイクルアンドライド駐輪場の整備推進	7-1	サイクル&ライド駐輪場の整備	路線バスの駐輪場の整備を検討(サイクル&バスライド)。	豊橋鉄道(株)、豊橋市(都市交通課)
		まちなかにおける駐輪環境の向上	7-2	自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を継続するとともに、長寿命化計画に基づく施設修繕を行う。	豊橋市(土木管理課)、指定管理者((株)日本メカトロニクス)